

第一弾は「パンの耳から作ったクラフトビール誕生物語」 「BREW TOWN(発酵するまち)」プロジェクト始動！

大学や醸造事業者、まちづくり団体などからなる「長岡の発酵ミーティング※」は、10月15日～21日の「HAKKOtrip & Week」の開催に合わせ、「まちが発酵する」をコンセプトにモノやコトを生み出し発信する「BREW TOWN（発酵するまち）」プロジェクトを新たにスタートします。

長岡市は、「長岡の発酵ミーティング」から生まれた、このプロジェクトを通して、地域の誇りの醸成やさらなる魅力の向上を目指します。

※長岡の発酵ミーティング

3大学1高専をはじめ、発酵醸造分野における有識者やまちづくりに参画する人を集め、平成31年1月に設立。発酵醸造のまちの機運醸成やプロモーションに関する事業を行う。イベントの企画・実施に加え、発酵・醸造をきっかけに様々な人が関わり、つながることを最も大切にしながら、新たな価値を生み出すことを目指す団体。

(代表：渡邊誠介、事務局：長岡市)



1 BREW TOWN プロジェクトについて

(1) 経緯

「長岡の発酵ミーティング」は、食品や研究対象としての発酵に留まらず、様々なプレイヤーが結びついて新たな価値を生むことを「まちの発酵」と定義して、これを最も大切にしながら活動しています。

今年で5年目を迎える発酵を楽しむイベント「HAKKOtrip」も、その趣旨に賛同する人が集い、新たなモノやコトを生み出すプラットフォームに成長。

この5年目を契機に、これまでの長岡の発酵ミーティングの歩みの中で醸成された多様な人とのつながりを土台として、まちの発酵を目に見える形にして発信する「BREW TOWN」プロジェクトを開始することとしました。

(裏面に続く)

(2) 取り組みの理念

市内にはつながることで価値が生まれる資源があり、それぞれの現場には魅力ある人がいます。それらが結びつき、地域の内側から発展していく「発酵するまち」を目指し、またこれをコンセプトとしたモノやコトを生み出します。

ヒトがつながり合いモノやコトが生まれるプロセスこそがまちを活性化させ、長岡が魅力あるまちになるために重要であるという考えのもと、このプロジェクトを通して、地域のプレイヤーを中心にアイデアを形にし、発信していきます。

2 プロジェクト第一弾「クラフトビール BREW TOWN」

(1) 内容

BREW TOWN プロジェクトの第一弾は、パンの耳を原材料にした「クラフトビール BREW TOWN」です。

きっかけは、子ども食堂の運営などを行っている「黒条みんなの食堂」の代表大竹祐介氏が、(株) マルシヤンの製造工程においてカットされたパンの耳が販売されずに残されていることを知り、クラフトビールを製造する HEISEI BREWING のブルワー佐藤雅史氏に、これを使ってクラフトビールを作れないか相談したことが始まりです。

各人が持つ資源や技術を持ち寄り、このたび、パンの耳を使った美味しいクラフトビール 1,000 リットルが完成しました。長岡造形大学山田博行准教授がラベルを制作、10月21日から一部提供、11月から一般販売を開始します。また、ビールを搾った後の副産物であるビール粕の活用も検討しており、長岡バイオコミュニティとも連動しながら、一つの商品を通して、まちなかのつながりを発信します。



▲大竹祐介氏



▲佐藤雅史氏



▲山田博行准教授

【製造工程】



▲カットされたパンの耳



▲パンの耳を攪拌し発酵させる



▲タンク内



▲完成したビール

(2) 関わる企業・団体

ビール製造販売	(株) ホクシヨク (HEISEI BREWING)
パンの提供	(株) マルシャン
ラベル制作	長岡造形大学 山田博行准教授
製造支援	長岡市商工部産業イノベーション課 (イノベーション加速化補助金)

(今後、連携予定の企業・団体)

ビール粕の活用	(株) 丸共
ビール活用イベント運営	ナガオカクラフトビールフェスティバル実行委員会
広報／ふるさと納税	な！ナガオカ／長岡市地方創生推進部広報・魅力発信課

(3) 周知イベント（詳細は別紙チラシ）

- ・10月21日（土）HAKKOtrip & Week 「スペシャル発酵トーク」
トーク終了後の交流会で BREWTOWN を特別提供
- ・10月22日（日）「発酵&酵母トークイベント」 BREWTOWN 試飲つき
- ・10月22日（日）伊勢角屋麦酒社長・鈴木成宗氏講演会&交流会
(対象：市内経営者、大学生)

(4) 一般販売など

- ・10月21日（土）～ 酒屋平成堂（長岡市川崎町）角打ちコーナーで提供開始
- ・11月上旬～ 小瓶（330ml）約1,500本を市内・県内にて販売

3 今後の展開

クラフトビール BREWTOWN を継続して製造・販売するとともに、ふるさと納税返礼品への掲載、ビール粕の有効活用の取り組みを進めます。

また、人と人とのつながりから生まれる新たなモノやコトを、プロジェクト第二弾、第三弾として目に見える形で積極的に発信していきます。

（ 問い合わせ：広報・魅力発信課 佐藤 電話：0258-39-5151 ）